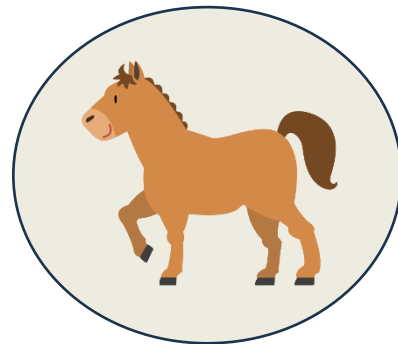


押絵体験交流会

押絵とは、厚紙を花鳥・人物などの形に切り抜き、綿をのせて美しい布で包み、物に貼り合わせた細工。

講師は、「ともに生きる会」の皆さんです^0^
来年の干支、馬の壁飾りを一緒に作りませんか？
(直径13cm)



令和7年12月12日(金) 13:30~16:00

場所:新鎌ヶ谷Fタワー10階 会議室 A
(鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-8-17)

最寄駅:新鎌ヶ谷駅 徒歩10分

*車でお越しの方:近くに有料駐車場ございます。

先着20名様 材料費:700円 申込締切12月5日(金)

《問合せ・申込み》 認定特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
電話: 043-303-1688または080-5418-7286
メールアドレス: ftsoudan@npoclub.com

【避難者住宅確保・移転サポート事業について】

福島県・茨城県・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川及び新潟の各都県で、応急仮設住宅の供与期間終了後の新たな住まいの確保を支援するため、「避難者住宅確保・移転サポート事業」を実施しています。ご自分で住宅を見つけられずお困りの方に、物件探しや契約時の書類作成などの支援を行い、生活再建を後押しします。

本事業の
対象者

- ①住まいの確保に関する電話・訪問による相談対応
- ②空き物件情報の収集、提供
- ③不動産業者への同行等による物件探しの支援
- ④不動産事業者等との契約手続きに関する支援
- ⑤運送事業者との契約手続きに関する支援(転居が必要な場合)

本事業の
内容

- ①応急仮設住宅の供与が継続する世帯
- ②上記のほか、新たな住宅確保に向けた支援が必要な世帯

《問合せ先》 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 担当者:鍋嶋・石井

☎080-5418-7286

受付時間 午前10時~午後5時(月曜日~金曜日(除く祝日・年末年始))



東北と千葉の出逢いが広がりますように

エンジョイ
縁 joy

2025.12.1
Vol.106

発行:認定特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
連絡先:〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12
☎043-303-1688 E-mail ftsoudan@npoclub.com
発行部数:2,000部
福島県から千葉県へ避難されている方の数:1,243名
(令和7年8/1現在)

10月13日~15日 「縁 joy 交流会」2025 開催報告

東日本大震災災害者支援・復興イベント

10月13日~15日【展示企画】【相談・交流スペース】を設置、13日には【交流ブース】【支援者団体ブース】【紙芝居企画】を開催、あわせて、【原子力賠償・廃炉等支援機構】の相談対応を千葉市生涯学習センターにて開催しました。(3日間来場者延べ100人)
皆さんが真剣に耳を傾けてくださったこと、そして市民の方々からの「大変だったね。がんばってね。」という温かい言葉に、胸が熱くなりました。避難先で「避難してきました」と言いづらい方が多いと聞く中で、震災の記憶を共有し、理解を深めていただける交流の機会を持てたことは、本当にありがたいことでした。
請戸小学校の紙芝居「奇跡の避難」を通して、あの日の出来事や、そこに生きた人々の思いが少しでも伝わっていたなら、それだけでもうれしく思います。これからも、震災の記憶を風化させず、語り継いでいく場を大切にしていきたいと思います。

【企画】 紙芝居

震災遺構 浪江町立請戸小学校
請戸小学校物語

「奇跡の避難」

制作:浪江まち物語つたえ隊
文・絵:いくまさ鉄平



オープニング



福島県避難者支援課
成田さん

千葉県危機管理政策課
野平さん



浪江まち物語つたえ隊(語り部石井さん 八島さん)



避難者代表あいさつ 千代田信一さん(双葉町)

【交流ブース】

千葉県内支援団体、千葉大 C-VOL によるワークショップ



コースター



【展示企画】【相談・交流スペース】

福島の記憶 報道パネル 福島民報社
千葉県内の支援団体パネル



情報紙「縁 joy」は、福島県県外避難者への相談・交流支援事業を活用して
東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆さまの不安や悲しみが少しでも軽減されるよう
そして、被災者に対しての理解が広まることを願って作成・発行しています。